

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本電子専門学校
設置者名	学校法人 電子学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	AIシステム科 (2年制)	夜・通信	1,440 時間	80×2= 160 時間	
	情報システム開発科 (2年制)	夜・通信	1,890 時間	80×2= 160 時間	
	情報処理科 (2年制)	夜・通信	2,085 時間	80×2= 160 時間	
	電気工学科 (2年制)	夜・通信	870 時間	80×2= 160 時間	
	高度電気工学科 (3年制)	夜・通信	1,500 時間	80×3= 240 時間	
	電気工事技術科 (2年制)	夜・通信	1,410 時間	80×2= 160 時間	
	コンピュータグラフィックス科 (2年制)	夜・通信	2,100 時間	80×2= 160 時間	
	CG映像制作科 (2年制)	夜・通信	1,530 時間	80×2= 160 時間	
	電子応用工学科 (2年制)	夜・通信	1,260 時間	80×2= 160 時間	
	アニメーション科 (2年制)	夜・通信	1,740 時間	80×2= 160 時間	
	ゲーム制作科 (2年制)	夜・通信	780 時間	80×2= 160 時間	

	ゲーム制作研究科 (3年制)	夜・通信	2,070 時間	80×3= 240 時間	
	高度情報処理科 (3年制)	夜・通信	2,490 時間	80×3= 240 時間	
	ネットワークセキュリティ科 (2年制)	夜・通信	1,350 時間	80×2= 160 時間	
	アニメーション研究科 (3年制)	夜・通信	2,550 時間	80×3= 240 時間	
	グラフィックデザイン科 (2年制)	夜・通信	1,530 時間	80×2= 160 時間	
	Webデザイン科 (2年制)	夜・通信	1,440 時間	80×2= 160 時間	
	コンピュータグラフィックス研究科 (3年制)	夜・通信	2,430 時間	80×3= 240 時間	
	ゲーム企画科 (2年制)	夜・通信	1,560 時間	80×2= 160 時間	
	ケータイ・アプリケーション科 (2年制)	夜・通信	1,800 時間	80×2= 160 時間	
商業実務専門課程	情報ビジネスライセン センス科 (2年制)	夜・通信	750 時間	80×2= 160 時間	
工業専門課程	電気工学科 (2年制)	夜・通信	600 時間	45×2= 90 時間	
	情報処理科 (2年制)	夜・通信	1,760 時間	45×2= 90 時間	
	電気工事士科 (1年制)	夜・通信	680 時間	80×1= 80 時間	
	ネットワークセキュリティ科 (2年制)	夜・通信	940 時間	45×2= 90 時間	
(備考)					
学則に記載されている下記の学科は、募集を停止しており在籍学生はいません。					
●文化・教養専門課程「音響芸術科」					
●工業一般課程「コンピュータ技術科」					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。 授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。 掲載： https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/department-information.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本電子専門学校
設置者名	学校法人 電子学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。
(掲載：<https://www.denshigakuen.ac.jp/pdf/officer-list.pdf>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社学夢堂 代表取締役	2021.12.11 ～ 2024.12.10	組織運営体制への チェック・広報
非常勤	株式会社ファンコーポ レーション 代表取締役社長	2021.12.11 ～ 2024.12.10	組織運営体制への チェック・経営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本電子専門学校
設置者名	学校法人 電子学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【教育課程編成及び授業計画の作成について】</p> <p>各学科の教育課程は、年間2回開催される「教育課程編成委員会」にて、外部委員(業界団体・企業から参加)からの意見を参考に、毎年度の学内検討を経て決定する。その上で、授業科目における講義・実習等の内容については、科目担当教員が検討して授業計画書(シラバス)を作成する。作成された授業計画書は、科目間の整合性を学科会議で調整を図り完成する。</p> <p>授業計画書は、学内の教員用内規『授業運用ガイドライン』の中で、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の目的と概要、授業の到達目標、成績評価の方法と基準、授業計画(各回の授業プラン)関連科目、テキスト・参考文献、履修前提に関する事項を全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式で作成を行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>教育課程については、授業開始時期の前々年度迄に各学科において作成され、教育部長及び校長の承認によって正式決定する。また、授業計画書は、授業開始時期の前年度迄に担当教員において作成され、学科長及び教育部長の承認によって正式決定されたものをホームページ上で公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>掲載： https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/departament-information.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

教務規程において、学内の成績評価、履修、進級・卒業要件を規定している。成績評価は、各授業科目の試験、課題の提出、出席状況等の総合評価により認定される。尚、学生には、入学時に配布する『学園生活ガイド』に記載し周知している。

【参考】教務規程の抜粋

(成績の評価)

- 第 12 条 科目の評価は、科目の授業担当者が試験、平常の成績、成果物等により行う。
- 2 評価基準は、90 点以上を秀、80 点以上 90 点未満を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可、60 点未満を不可とする。
 - 3 当該科目の出席時間数が所定の 5 分の 4 に満たない学生は、別に設ける補講等を受けなければ評価対象としない。

(進級)

第 37 条 卒業学年以外において、所属する各学科の教育課程に定められた必修科目（選択必修科目を含む）のうち、当該学年までに履修しなければならない全ての科目の単位数に対して、5 分の 4 以上の認定を受けている者に進級を認める。

(卒業認定・専門士、高度専門士の付与)

第 38 条 所属する各学科が定めた卒業に必要な授業時間数を履修し成績の評価を受けた者に対し卒業を認め、付与要件を満たしている学科においては、専門士または高度専門士の称号を付与する。

(原級留置)

- 第 39 条 第 37 条に該当しない学生は、進級を認定せず、原級留置とする。
- 前条に該当しない学生は、卒業を認定せず、原級留置とする。
- 2 各学年における、所定の授業時間数の 3 分の 1 を超過して欠席した学生は、進級および卒業を認定せず、原級留置とする。

3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学内の教員用内規『授業運用ガイドライン』の中で、成績評価方法・基準について示している。</p> <p>成績評価は、各授業科目の試験、課題の提出、出席状況 等の総合評価により認定される。評価基準は、90 点以上を秀 (S)、80 点以上 90 点未満を優 (A)、70 点以上 80 点未満を良 (B)、60 点以上 70 点未満を可 (C)、60 点未満を不可 (D) とする。各科目の成績評価を下記の計算に基づいて、成績総得点として算出する。</p> <p>得点=(S : 単位数× 4)+(A : 単位数× 3)+(B : 単位数× 2)+(C : 単位数)</p> <p>成績総得点は、学科単位での成績の順位付けを行う際に用いると共に、学業優秀者の褒賞対象選出などにも活用している。</p> <p>成績評価については、教務規程に記載した上で、入学時に配布する『学園生活ガイド』及び授業計画書に、成績評価方法・基準を記載して学生に周知している。また、教務規程と『授業運用ガイドライン』をホームページ上で公開している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>掲載：</p> <p>https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/guidelines.html</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>日本電子専門学校は、「電子技術を核とした創造性豊かな技術者の育成を通して世界に貢献する。」という建学の精神のもと、創立より一貫して、コンピュータ・電気・電子分野のスペシャリスト育成を本校の使命と捉え、産業界への貢献に繋げている。</p> <p>卒業要件については、各学科が定めた卒業に必要な授業時間数を履修し成績の評価を受けた者に対し卒業を認めると定め、教務規程に記載してホームページ上で公開している。</p> <p>尚、卒業時に身に付けるべき資質・能力については、全学科共通及び学科別のディプロマポリシーを定め、学生に配布する『学園生活ガイド』と「学科ガイド」に記載すると共に、ホームページ上で公開している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>掲載：</p> <p>https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/department-information.html</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本電子専門学校
設置者名	学校法人 電子学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している https://www.denshigakuen.ac.jp/financial_information/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

【1】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	AIシステム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間/単位	330 単位時間/単位	単位時間/単位	1,380 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		154人	28人	4人	2人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
74人 (100%)	1人 (1.4%)	69人 (93.2%)	4人 (5.4%)
（主な就職、業界等） ICT業界、AI・ビッグデータ業界、システム開発業界 トヨタ自動車、日本システムウェア、ドコモ・データコム、テクノブレイブ、ソブラ、ISIDインターテクノロジー、富士インフォックス・ネット、日立ソリューションズ・テクノロジー など			

<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>OracleJava Bronze、OracleJava Silver、Python3 エンジニア認定基礎試験</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
168 人	19 人	11.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、健康上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【2】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム開発科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	540 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,350 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		153人	16人	5人	4人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
68人 (100%)	1人 (1.5%)	66人 (97.0%)	1人 (1.5%)
（主な就職、業界等） キヤノン株式会社、いすゞシステムサービス株式会社、デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社、富士ソフト株式会社、株式会社トップゲート 等システム開発業界、IT業界			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学			

<p>科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>システム開発競技大会入賞、情報処理技術者能力認定試験 2 級、基本情報技術者、OracleJava Bronze、OracleJava Silver</p>
<p>（備考）（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
153 人	5 人	3.3%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学習上の理由、経済上の理由</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【3】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	情報処理科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1,710 単位時間/単位		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼			435 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,650 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
280人		337人	41人	8人	8人	16人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 （概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
152人 (100%)	3人 (2.0%)	126人 (82.9%)	23人 (15.1%)
（主な就職、業界等） キャノン、コープ情報システム、ヤマトシステム開発等 情報処理のシステム開発に関する業界			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育			

<p>課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>基本情報技術者、ITパスポート、マイクロソフト オフィス Excel2013 スペシャリスト</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
335 人	23 人	6.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、経済上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【4】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	電気工学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1,770 単位時間/単位		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼			1,260 単位時間 /単位	単位時間 /単位	270 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100人		48人	4人	5人	5人	10人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 （概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	1人 (6.2%)	15人 (93.8%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 電気設備管理、電気工事、電気設計業界等 関東電気保安協会、東京電力ホールディングス、北海道電力、東京地下鉄、協和エクシオ、JESCO ホールディングス 等			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学			

<p>科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>第三種電気主任技術者、第一種電気工事士、第二種電気工事士</p>
<p>（備考）（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44 人	5 人	11.4%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学習上の理由、健康上の理由</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【5】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	高度電気工学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2,850 単位時間/単位		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼			1,770 単位時間 /単位	単位時間 /単位	720 単位時間 /単位	360 単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人		34人	2人	5人	8人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (%)	8人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 電気設備管理、電気工事、電気設計業界等 野村不動産パートナーズ、三菱地所プロパティマネジメント、京王設備サービス、ANAスカイビルサービス、日本テクノ 等			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学			

<p>科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>第三種電気主任技術者、第一種電気工事士、第二種電気工事士、エネルギーマネジメントアドバイザー、第2級陸上特殊無線技士</p>
<p>（備考）（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	1人	3.4%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学習上の理由</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【6】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	電気工事技術科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1,980 単位時間/単位		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼			1,050 単位時間/単位	単位時間/単位	810 単位時間/単位	120 単位時間/単位	単位時間/単位
				単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
100人		60人	1人	5人	3人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (%)	21人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 電気工事施工、太陽光発電施工、ネットワーク施工、電気工事・施工業界 関電工、きんでん、協和エクシオ、日本電設工業、日本リーテック、NR 電車線テクノ、 飯田電機工業、福田電気工事 等			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学			

<p>科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>ネットワーク配線競技大会入賞、第二種電気工事士、第一種電気工事士、エネルギーマネジメントアドバイザー</p>
<p>（備考）（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59人	2人	3.4%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>健康上の理由</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【7】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	コンピュータグラフィックス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間/単位	870 単位時間/単位	単位時間/単位	1,230 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		336人	52人	10人	17人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
166人 (100%)	6人 (3.6%)	113人 (68.1%)	47人 (28.3%)
（主な就職、業界等） 株式会社スクウェア・エニックス、ModelingCafe、株式会社オー・エル・エム・デジタル、株式会社サンライズ 等、CG業界			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学			

<p>科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>CG 作品コンテスト入賞、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級</p>
<p>（備考）（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
356 人	32 人	9.0%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学習上の理由、健康上の理由</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【8】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	CG映像制作科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1,740 単位時間/単位		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼			720 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,260 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人		142人	19人	5人	8人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
73人 (100%)	0人 (%)	58人 (79.5%)	15人 (20.5%)
（主な就職、業界等） 株式会社オムニバス・ジャパン、株式会社 Spade&Co.、株式会社 十十（Jitto） 等、CG映像業界			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育			

<p>課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>CG 作品コンテスト入賞、CG クリエイター検定エキスパート、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
154 人	13 人	8.4%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【9】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	電子応用工学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1,800 単位時間/単位		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼			600 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,230 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人		42人	6人	3人	4人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3.3%)	24人 (80.0%)	5人 (16.7%)
（主な就職、業界等） トラストテック、ゼネラルエンジニアリング株式会社、東洋エンジニアリング、日本エクス・クロン株式会社、プライムエンジニアリング株式会社 等 エレクトロニクス業界			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育			

<p>課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ロボット競技大会入賞、第二級陸上特殊無線技士、消防設備士甲4類、X線作業主任者</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	4人	7.0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、健康上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「學生指導記録」等を基に、學生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【10】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	アニメーション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	570 単位時間/単位	単位時間/単位	1,170 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		86人	14人	4人	12人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 (100%)	0人 (%)	25人 (78.1%)	7人 (21.9%)
（主な就職、業界等） A-1Pictures、スタジオカラー、MAPPA、日本アニメーション、サテライト、サンライズ、ライデンフィルム、チップチューン、RIC、セブンアークス、アンサースタジオ、ジーベック、ぴえろプラス、旭プロダクション、寿門堂、ピー・アール・エー、中村プロダクション、スタジオ・コスモ、スタジオちゅーりっぷ等 アニメーション業界			

<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>アニメ作品コンテスト入賞、色彩検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77人	4人	5.2%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>健康上の理由、経済上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【11】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲーム制作科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間/単位	480 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,230 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		399人	27人	9人	12人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
166人 (100%)	2人 (1.2%)	130人 (78.3%)	34人 (20.5%)
（主な就職、業界等） 株式会社フロム・ソフトウェア、株式会社 epics、株式会社アルグラフ等、ゲーム制作企業及び、IT系企業			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育			

<p>課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ゲーム作品コンテスト入賞、情報検定情報活用試験 3級、ビジネス能力検定ジョブパス 3級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
395 人	37 人	9.4%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【12】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	ゲーム制作研究科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,610 単位時間/単位		630 単位時間 /単位	単位時間 /単位	2,820 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
300人		320人	54人	8人	9人	17人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
81人 (100%)	3人 (3.7%)	59人 (72.8%)	19人 (23.5%)
（主な就職、業界等） 株式会社カプコン、サイバーステップ株式会社、株式会社オルカ、株式会社キャメロット、株式会社リベル・エンタテインメント 他 ゲーム開発企業			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育			

<p>課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ゲーム作品コンテスト入賞、情報検定情報活用試験 3 級、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
299 人	13 人	4.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、健康上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【13】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	高度情報処理科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2,460 単位時間/単位		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼			690 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,800 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人		126人	8人	4人	6人	10人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33人 (100%)	0人 (%)	32人 (97.0%)	1人 (3.0%)
（主な就職、業界等） キヤノン、ぐるなび、富士ソフト、NHN テコラス、パーソルプロセス&テクノロジー等、 情報処理のシステム開発に関わる業界			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育			

<p>課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ソフトウェア開発競技大会入賞、基本情報技術者、OracleJava Bronze、OracleJava Silver、OracleJava Gold</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
123人	6人	4.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、経済上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【14】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ネットワークセキュリティ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間/単位	270 単位時間/単位	単位時間/単位	1,440 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		143人	21人	4人	3人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
61人 (100%)	2人 (3.3%)	54人 (88.5%)	5人 (8.2%)
（主な就職、業界等） ラック、ユニアデックス、NTT-ME、NTT コミュニケーションズ等、ネットワーク・セキュリティ業界			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学			

<p>科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>Cisco CCNA、LPIC Level1・2、CompTIA Security+</p>
<p>（備考）（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
140 人	12 人	8.6%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【15】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	アニメーション研究科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,550 単位時間/単位	810 単位時間/単位	単位時間/単位	1,740 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		87人	21人	4人	16人	20人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	2人 (5.3%)	26人 (68.4%)	10人 (26.3%)
(主な就職、業界等) ぴえろ、ライデンフィルム、東映アニメーション、スタジオワイエス、サンライズ、ウィットスタジオ、スタジオ雲雀、グラフィニカ、Wish、SILVER LINK、ヴォルン、ネクストバッテリーズサークル等 アニメーション業界			

<p>(就職指導内容)</p> <p>各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>アニメ作品コンテスト入賞、色彩検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
96人	5人	5.2%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、経済上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的な学生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【16】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	グラフィックデザイン科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	480 単位時間/単位	単位時間/単位	1,260 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		60人	12人	3人	8人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34人 (100%)	0人 (%)	23人 (67.6%)	11人 (32.4%)
(主な就職、業界等) サンリオ、オレンジデザインラボス、晃和、水上印刷、三報社印刷、図書印刷、シムス、等 デザイン・印刷業界			
(就職指導内容) 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学			

<p>科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>デザインコンテスト入賞、色彩検定3級、情報検定 情報デザイン試験、Illustrator アドビ認定アソシエイト試験、Photoshop アドビ認定アソシエイト試験</p>
<p>（備考）（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	5人	7.1%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学習上の理由、健康上の理由</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【17】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	Webデザイン科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1,710 単位時間/単位		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼			630 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,080 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人		73人	8人	3人	6人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39人 (100%)	0人 (%)	32人 (82.1%)	7人 (17.9%)
（主な就職、業界等） ミツエーリンクス、あとらす二十一等、トランスコスモス、キノトロップ、他 Web 制作会社			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育			

<p>課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>Webデザインコンテスト入賞、色彩検定3級、情報検定 情報デザイン試験</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80人	9人	11.3%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、健康上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「學生指導記録」等を基に、學生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【18】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	コンピュータグラフィックス研究科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,550 単位時間/単位	540 単位時間/単位	単位時間/単位	2,010 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		101人	14人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	1人 (2.8%)	22人 (61.1%)	13人 (36.1%)
（主な就職、業界等） アニメ、株式会社十十、NHKアート、StudioGOONEYS等 CG業界 オー・エル・エム・デジタル、東映アニメーション等 アニメ業界			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学			

<p>科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>CG 作品コンテスト入賞、ビジネス能力検定 3 級</p>
<p>（備考）（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103 人	5 人	4.9%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学習上の理由、健康上の理由</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【19】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ゲーム企画科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間/単位	690 単位時間/単位	単位時間/単位	1,020 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		83人	13人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	1人 (3.0%)	25人 (75.8%)	7人 (21.2%)
（主な就職、業界等） アンビション、フロム・ソフトウェア、サクセス、SNKプレイモア、プロトタイプ、キャメロット、GAE 他 ゲーム開発企業			
（就職指導内容） 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育			

<p>課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ゲーム作品コンテスト入賞、情報検定 情報活用試験 3 級</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	7 人	9.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>学習上の理由、健康上の理由、経済上の理由</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【20】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ケータイ・アプリケーション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,770 単位時間/単位	300 単位時間/単位	単位時間/単位	1,500 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	90人	18人	3人	7人	10人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3.3%)	27人 (90.0%)	2人 (6.7%)
(主な就職、業界等) ISID インターテクノロジー、キャノン、ローソン、NTT データシステム技術、CLINKS、等モバイルアプリ開発業界、システム開発業界			
(就職指導内容) 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学			

<p>科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>アプリ開発コンテスト入賞、OracleJava Bronze、OracleJava Silver、OracleJava Gold、基本情報技術者</p>
<p>（備考）（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	7人	8.5%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学習上の理由</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【21】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	情報ビジネスライセンス科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	810 単位時間/単位	単位時間/単位	960 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		38人	5人	3人	6人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。また、授業終了後の放課後の時間帯には、実習室を開放して予習・復習に取り組める環境を用意している。 その他、クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (%)	12人 (92.3%)	1人 (7.7%)
(主な就職、業界等) ライクスタッフィング、あさひ、アーク引越センター、エミーズ、東洋、ルート情報開発、アイコミュニケーション、新北斗警備保障、コダマ、木原製作所			
(就職指導内容) 各クラス担当のキャリアサポーターとクラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。また、全学			

<p>科共通の「就職活動リテラシー（必修）」という科目を通じて、就職活動の準備を教育課程の中で計画的に進めている。</p> <p>尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>Microsoft Office Specialist (Word/Excel)、サービス接遇実務検定 2 級、秘書技能検定 2 級、CompTIA IT Fundamentals、日本語ワープロ検定、情報処理技能検定 表計算</p>
<p>（備考）（任意記載事項）</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	2 人	5.7%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>学習上の理由</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。各クラス専属のキャリアサポーターが、担任教員と連携を図り、ホームルームにおいて直接指導することによって、退学率の低減を図っている。また、クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。</p>		

【22】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電気工学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1,720 単位時間/単位	1,320 単位時間/単位	単位時間/単位	160 単位時間/単位	240 単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		60人	0人	5人	6人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	0人 (%)	20人 (95.2%)	1人 (4.8%)
（主な就職、業界等） 電気設備管理、電気工事、電気設計業界等 関東電気保安協会、東京電力ホールディングス、北海道電力、東京地下鉄、協和エクシオ、JESCOホールディングス 等			
（就職指導内容） クラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。			

る。
(主な学修成果(資格・検定等)) 第三種電気主任技術者、第一種電気工事士、第二種電気工事士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54人	5人	9.3%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【23】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業		工業専門課程	情報処理科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1,760 単位時間/単位		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜			480 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,280 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人		58人	0人	8人	4人	12人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (%)	13人 (76.5%)	4人 (23.5%)
（主な就職、業界等） キャノン、コープ情報システム、ヤマトシステム開発等 情報処理のシステム開発に関する業界			
（就職指導内容） クラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 基本情報技術者、IT パスポート
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	9 人	16.4%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。クラス担任が作成する「学生指導記録」等を基に、学生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【24】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	電気工事士科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	夜	1,080 単位時間/単位	480 単位時間 /単位	単位時間 /単位	600 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		11人	0人	5人	4人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (%)	6人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 電気工事施工、太陽光発電施工、ネットワーク施工、電気工事・施工業界 日本電設工業、スズデン、日立コンシューマ・マーケティング、三菱地所プロパティマネジメント、関工パワーテクノ 等			
（就職指導内容） クラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。			

る。
(主な学修成果(資格・検定等)) 第二種電気工事士、第一種電気工事士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	1人	14.3%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。クラス担任が作成する「學生指導記録」等を基に、學生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

【25】

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ネットワークセキュリティ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1,740 単位時間/単位	860 単位時間/単位	単位時間/単位	880 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		24人	0人	4人	2人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 年間計画には、通常の授業期間とは別に、フォローアップ期間及び追再試期間が予め設定されており、計画的な学修支援を行う体制が整っている。クラス担任を始めキャリアセンター等の相談窓口を複数用意し、個々の相談内容に合わせて適切な対応が行える体制にしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	1人 (7.2%)	10人 (71.4%)	3人 (21.4%)
（主な就職、業界等） ラック、ユニアデックス、NTT-ME、NTT コミュニケーション等、ネットワーク・セキュリティ業界			
（就職指導内容） クラス担任が中心となり、ホームルームの時間を活用した組織的な学生指導体制による就職指導を入学時から行っている。尚、キャリアセンターが中心となり、業界の求人獲得に努め、合同企業説明会や校内入社試験を実施し、職業の斡旋紹介を適時行っている。			

る。
(主な学修成果(資格・検定等)) Cisco CCNA、LPIC Level1・2
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	7人	20.0%
(中途退学の主な理由) 学習上の理由、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) キャリアセンターを中心に組織的學生指導体制を築いている。クラス担任が作成する「學生指導記録」等を基に、學生一人ひとりの状況を常に把握し、個別指導を行い、状況によっては面談や、必要に応じてキャリアサポーターが家庭訪問を行うなどの対応を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
AI システム科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	572,000 円	
情報システム開発科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	562,000 円	
情報処理科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	562,000 円	
電気工学科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	484,000 円	
高度電気工学科 昼間部 (3年制)	200,000 円	552,000 円	504,000 円	
電気工事技術科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	504,000 円	
コンピュータ グラフィックス科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	600,000 円	
CG 映像制作科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	600,000 円	
電子応用工学科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	484,000 円	
アニメーション科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	600,000 円	
ゲーム制作科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	600,000 円	
ゲーム制作研究科 昼間部 (3年制)	200,000 円	552,000 円	632,000 円	
高度情報処理科 昼間部 (3年制)	200,000 円	552,000 円	588,000 円	
ネットワーク セキュリティ科 昼間部 (2年制)	200,000 円	552,000 円	572,000 円	

アニメーション研究科 昼間部 (3年制)	200,000円	552,000円	632,000円	
グラフィックデザイン科 昼間部 (2年制)	200,000円	552,000円	572,000円	
Webデザイン科 昼間部 (2年制)	200,000円	552,000円	572,000円	
コンピュータグラフィック 研究科 昼間部 (3年制)	200,000円	552,000円	632,000円	
ゲーム企画科 昼間部 (2年制)	200,000円	552,000円	600,000円	
ケータイ・ アプリケーション科 昼間部 (2年制)	200,000円	552,000円	572,000円	
情報ビジネスライセンス 科 昼間部 (2年制)	200,000円	552,000円	562,000円	
電気工学科 夜間部 (2年制)	100,000円	324,000円	282,000円	
情報処理科 夜間部 (2年制)	100,000円	324,000円	282,000円	
電気工事士科 夜間部 (1年制)	100,000円	324,000円	282,000円	
ネットワーク セキュリティ科 夜間部 (2年制)	100,000円	324,000円	282,000円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について学校HPで公開している https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/self-assessment.html		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
本校では、卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野の関係団体、中学校・高等学校等、日本語教育機関、在学生の父母、地域住民、所轄庁・自治体の関係部局、在学生など、本校の関係者を評価委員として、学校関係者評価委員会(以下、評価委員会という)を組織する。評価委員会では、本校自己評価報告書にもとづき、学校の運営状況や学科の教育状況、目標達成度、進路状況、卒業生の関係業界での活躍等、教育活動に関する自己評価結果を報告する。評価委員より、自己評価結果の評価を受け、自己評価結果の妥当性客観性・透明性を高めるとともに、学科への理解促進や連携協力による今後の運営や教育の改善等を図ることを基本方針とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
アニメーション企画制作会社 社員	2022.5.1~2024.4.30	企業
ゲームソフト開発会社 社員	2021.5.1~2023.4.30	企業
広告宣伝・販売促進総合プロデュース会社 役員	2022.5.1~2024.4.30	企業
電気設備会社 社員	2021.5.1~2023.4.30	企業
ソフトウェア開発会社 社員	2021.5.1~2023.4.30	企業
開発・コンサルティング会社 役員	2021.5.1~2023.4.30	企業
セキュリティ教育サービス会社 役員	2021.5.1~2023.4.30	企業
ITソリューションサービス会社 社員	2022.5.1~2024.4.30	企業
画像情報分野協会	2021.5.1~2023.4.30	職能団体
電子技術分野協会	2021.5.1~2023.4.30	職能団体
コンピュータソフトウェア分野協会	2021.5.1~2023.4.30	職能団体
組込みシステム開発分野協会	2021.5.1~2023.4.30	職能団体
商工会議所	2022.5.1~2024.4.30	職能団体
高等学校 教員	2022.5.1~2024.4.30	高校教員等
高等学校 職員	2021.5.1~2023.4.30	高校教員等
元 高等学校 教員	2021.5.1~2023.4.30	高校教員等
日本語学校 職員	2022.5.1~2024.4.30	日本語学校

ソフトウェア開発会社 社員	2021. 5. 1～2023. 4. 30	卒業生
	2021. 5. 1～2023. 4. 30	卒業生
町内会 役員	2021. 5. 1～2023. 4. 30	地域住民
会社員	2021. 5. 1～2023. 3. 31	在学生の父母
会社員	2021. 5. 1～2023. 3. 31	在学生の父母
会社員	2022. 5. 1～2024. 3. 31	在学生の父母
会社員	2022. 5. 1～2024. 3. 31	在学生の父母
CG分野	2021. 5. 1～2023. 3. 31	学生
アニメ分野	2021. 5. 1～2023. 3. 31	学生
CG分野	2021. 5. 1～2024. 3. 31	学生
CG分野	2022. 5. 1～2024. 3. 31	学生
ゲーム分野	2022. 5. 1～2024. 3. 31	学生
電気分野	2022. 5. 1～2024. 3. 31	学生
電気分野	2022. 5. 1～2024. 3. 31	学生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について学校HPで公開している https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/stakeholder-assessment.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項) https://www.jec.ac.jp/school-outline/disclose/third-party-evaluation.html		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.jec.ac.jp/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	日本電子専門学校
設置者名	学校法人 電子学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		300人	283人	310人
内 訳	第Ⅰ区分	191人	183人	
	第Ⅱ区分	66人	58人	
	第Ⅲ区分	43人	42人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				310人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	1人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	1人
「警告」の区分に連続して該当	1人	1人	0人
計	1人	1人	1人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る。）、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの 限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	一人	一人	29人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	一人	一人
計	一人	一人	31人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。